

平成25年度 八戸市地域公共交通総合連携計画改訂業務

進捗報告

平成 25年 12月 26日

八戸市地域公共交通会議
(事務局：八戸市 都市整備部 都市政策課)

平成25年度 八戸市地域公共交通総合連携計画改訂業務 進捗報告

目次

1. 市民アンケート調査	1
1-1 目的	1
1-2 実施方法	1
1-3 調査内容	1
1-4 回収状況（速報値）	1
2. 関係者ブレインストーミング	2
2-1 目的	2
2-2 実施方法	2
2-3 参加メンバー	3
2-4 開催テーマ・実施状況	3
2-5 ブレインストーミングの結果概要	3
3. 今後のスケジュール	5

1. 市民アンケート調査

1-1 目的

八戸市地域公共交通総合連携計画等の各種事業・取組みの認知度・評価・改善点を把握するとともに、今後の施策につながる意見・要望等を探ることを目的に実施。

1-2 実施方法

- ・ 調査対象：路線バス（幹線18路線）の沿線住民・3,465世帯とバス利用者（500人予定※現在作業中）。
- ・ 調査方法・実施時期：調査方法は以下の2つの方法で実施しました。

【世帯配布】

幹線18路線のうち「主要バス停」が設置されている地区に居住されている世帯を対象に郵送配布・郵送回収方式で実施。

平成25年12月6日～ 世帯配布開始

【バス利用者への直接配布】

JR八戸駅・本八戸駅のバスターミナル及び中心街バスターミナルで調査員がバス利用者へ直接配布・郵送回収方式で実施。

平成25年12月16日～ 調査員による直接配布開始

1-3 調査内容

参考資料として配付しているアンケート調査票をご覧ください。

1-4 回収状況（速報値）

現在の回収状況は以下の通りです。

表 1-1 市民アンケートの配布・回収状況（速報値）

	配布世帯・枚数	回収世帯・枚数
世帯配布	3,465世帯※ (6,872枚)	486世帯 (746枚)
バス利用者 直接配布	500枚	未回収

※ 単身世帯58世帯は1票配布、その他2票配布：計6,872票配布。

※ 回収世帯・枚数は12月17日現在。

2. 関係者ブレインストーミング

2-1 目的

今後の施策につながる課題・アイデア出しに向けて、各主体に個別に調査するのではなく、関係者に一同に集まってもらい意見交換を行うため実施しました。

また、今後の関係機関の横の連携強化に向けた、「つながり」づくりのきっかけとなることを目的として実施しました。

2-2 実施方法

八戸市の多種多様な公共交通の取組みを支える（支えてきた）多くの関係者に一同に集まってもらい、各現場からの意見、改善要望、運営上の課題、問題点、利用者や地域からの声・思い、新たなアイデアなどを出し合いました。

※ブレインストーミングとは、集団でアイデアを出し合うことによって相互交錯の連鎖反応や発想の誘発を期待する技法。ブレインストーミングの過程では、次の4原則（ルール）を守ることでされている。

①判断・結論を出さない（結論厳禁）

②粗野な考えを歓迎する（自由奔放）

③量を重視する（質より量）

④アイデアを結合し発展させる（結合改善）

[出典：川喜田二郎 『発想法：創造性開発のために』]

1. ブレインストーミング（KJ法）による アイデア出し

◇参加者の視点からこれまで実施してきた事業の良いところ・悪いところを整理し、意識の共有を図った上で、品質改善に向けた取り組み・新しいアイデアを出し合いました。



2. 事業ごとの方向性の共有化

◇各テーマの意見・アイデアを集約し、現在展開中の事業の品質向上に向けた方向性、関係機関の関わりなどを整理しました。

◇ブレインストーミングの結果をメンバーで共有するため、最終報告を行いました。

※発表者は参加者代表



3. 改善プランを出し合いみんなで評価

◇ブレインストーミングで出た改善プランをみんなで確認し、実施すべき重要なプロジェクトを評価しました。



図 2-1 ブレインストーミングの進め方と実際の開催状況

2-3 参加メンバー

ブレインストーミングの参加メンバーは八戸市の公共交通関連事業に携わっている下記の関係者の方を集めて開催しました。

- ・ バス事業者（八戸市交通部、南部バス株、十和田観光鉄道株）
- ・ タクシー事業者（八戸市タクシー協会）
- ・ 鉄道事業者（東日本旅客鉄道株八戸駅、青い森鉄道株）
- ・ 一般市民（八戸市地域公共交通会議オブザーバー）
- ・ 行政（青森運輸支局、八戸市）
- ・ 八戸中心街ターミナルモビリティセンター
- ・ 八戸公共交通アテンダントはちナビ娘“はちこ”
- ・ はちのへ総合観光プラザ
- ・ はちのへ女性まちづくり塾生の会
- ・ NPO法人まちもびデザイン
- ・ コンサルタント会社
- ・ 学識者（武山教授、吉田准教授） など

2-4 開催テーマ・実施状況

開催回数と各テーマの内容については以下の通りです。

表 2-1 開催テーマ・スケジュール

開催回数	開催時期	開催テーマ
第1回	11/14 (木)	テーマ1: 八戸市(地域)内の公共交通の良い点・悪い点 テーマ2: 八戸市(地域)内の公共交通で気になる点
第2回	12/16 (月)	テーマ: 八戸市内(圏域)の公共交通の良い点、悪い点、 気になる点の改善プランを考える。

2-5 ブレインストーミングの結果概要

第1回ブレインストーミング結果のとりまとめは次頁の表 2-2 をご覧ください。

第2回ブレインストーミング結果は現在整理中です。

今後、ブレインストーミングの結果から地域公共交通総合連携計画改訂に向けた方向性を整理する予定です。

表 2-2 ブレインストーミングとりまとめ

カテゴリー区分	いいね!	悪い…	その他 (八戸市の公共交通で気になる点)
運賃・料金 企画乗車券	21 票 ・ 上限 300 円設定を評価。 ・ 運賃のわかりやすさ。 ・ 小銭が貯まらない。 ・ 回数券の共同利用が可能。 ・ 八食 C100 円バスは観光客の評価が高い。	8 票 ・ 平日 1 日乗車券がない。 ・ 企画乗車券を知らなかった。 ・ おんでカードが活用されていない。 ・ えんじょいカードの購入場所と引替場所が違う。 ・ IC カードが使えない。 ・ 福祉乗車券の配布が事業を圧迫。	6 票 ・ はつらつ券が安い。お得感がある。 ・ 既存の企画乗車券とはつらつ券のお得感を是正する必要がある。 (新たな企画乗車券 or はつらつ券の値上げ)
等間隔運行 運行本数 運行ルート	40 票 ・ 等間隔運行はわかりやすく便利。 ・ 中心街～八戸駅間は本数が多い。 ・ 関係者の連携・協力体制が構築。 ・ 公共交通で行ける範囲が広い。 ・ 最終便が比較的多い(お酒飲んでも安心)。	35 票 ・ 中心街以外は使いにくい。 ・ 郊外間の乗り継ぎ負担が大きい。 ・ 運行本数が少ない路線がある。 ・ 始発・終発時間が悪い。 ・ フェリー・鉄道との乗継ぎが悪い。 ・ 市内観光バスがない。 ・ うみねこ号の運賃・運行期間の変更。	4 票 ・ 路線バスとフェリー・鉄道との連携。 ・ 等間隔・共同運行に加え、効率的な運行も検討。 ・ 初めての利用者も安心して利用できる情報提供が必要。
車両/車内	6 票 ・ 古いバスの運行を「強み」に変える。 (整備力のすごさ等「売り」にする等) ・ ラッピングバスの運行。	15 票 ・ 車両が古い・汚い。 ・ ノンステップ・ワンステップバスが少ない。 ・ 搭乗口の段差がきつい。 ・ 5 千・1 万円が両替できない。 ・ 荷物を持って乗りにくい。	6 票 ・ 安全に両替できるようにする。 ・ 車内の音声案内の改善。 ・ つり革のアルコール消毒。 ・ 寝過ごし対応・サービスの提供。 ・ 「止まります」ボタンの改善。
情報提供	48 票 ・ モビセン・はちこ等、案内・場所が充実。 ・ バスマップ・時刻表等の情報ツールが豊富。 ・ 乗り継ぎ案内が便利・わかりやすい。 ・ 行き先標示、ナンバリングはわかりやすい。 ・ WEB は見やすい、わかりやすい。 ・ バスロケ、電子掲示板が良い。 ・ バス停が集約、共同利用でき良い。	23 票 ・ プロジェクトが知られていない。 ・ 本八戸駅の情報提供が未整備。 ・ バス案内掲示板が市営・民営でバラバラ。 ・ バスの遅れ等リアルタイム情報提供がない。 ・ 案内看板、情報ツール等わかりにくい。 (文字が小さい等) ・ 行き先標示と町名が被って案内しにくい。	6 票 ・ 電子掲示板の情報提供の改善 (共同利用・運用などを検討) ・ はちこ、観光案内所の冬の制服作成 ・ イベント等のチラシ貼り付け時の心配り (運賃、路線図が見えないことがある。)
バス停	7 票 ・ 中心街以外にもバス停の共同利用箇所が多い。 ・ 中心街ターミナルのバス停が方面別で迷わない・わかりやすい。 ・ 中心街に来ればどこでも行ける。	23 票 ・ バス停の案内・時刻表が汚い。 ・ バス停の時刻表が見えない・目立たない。 ・ 方面別アルファベット等遠くだと見えない。 ・ バス停に屋根・ベンチがない。 ・ バス停・地名が読めない。	2 票 ・ バス停の寄付募集。 (バス停ベンチ設置応援プロジェクト。)
鉄道・駅	1 票 ・ JR 八戸線は速くて利用しやすい。	9 票 ・ バスターミナル内に乗用車が入ってくる。 ・ 公共交通に対するリスペクトがない。 ・ 駅構内の自由通路が寒い。 ・ ロッカーの位置が悪い。 (観光客が使いにくい。)	4 票 ・ バスターミナル内に入らないよう乗用車向けの案内改善。 ・ 北海道新幹線開通時に向けたPRの検討(八戸のイメージUP作戦) ・ トイレの設置。
運転手	0 票 -	7 票 ・ 一部の乗務員の対応・マナーが悪い。 ・ 運転が荒い乗務員がいる。	1 票 ・ 女性運転手の制服改善。 (イメージUPの一環として実施)
タクシー	1 票 ・ タクシー運転手のマナー・接客が改善。	4 票 ・ 深夜の中心街はタクシーが多すぎる。 ・ シンタクンに乗せてもらえなかった。 ・ シンタクンはあるが路線バスがない。	2 票 ・ まちタク・鉄道と路線バスの連携 ・ タクシー利用の割引サービス・回数券の検討。
その他	14 票 ・ 行政、事業者等、公共交通に係わる関係者が多い。 ・ 育てる公共交通の理念が良い。 ・ 「交通」を考える風土・環境ができています。	8 票 ・ 観光客向けのバスがない。 ・ 観光地はあるが魅力がない。 ・ 人口分布とバスネットワークが整合していない。	2 票 ・ バスパックのPR周知・宣伝の実施。 ・ 観光・まちづくり・交通が連携・一体となったサービスの提供。

3. 今後のスケジュール

今後の地域公共交通会議等のスケジュールは以下の通り進めます。

表 3-1 開催テーマ・スケジュール

八戸市地域公共交通会議		
第3回	12/26 (木)	・ 連携計画改訂関連調査の進捗状況(報告)
第4回	3月下旬 開催予定	・ 計画(最終案)の協議 ・ 事業の継続・廃止、追加すべき事業メニューの確認
地域公共交通総合連携計画検討分科会		
第1回	10/2 (水)	・ 連携計画実施事業の達成度評価手法の検討 ・ 実施事業の認知度・満足度調査の実施概要
第2回	11/14 (木)	第1回関係者ブレインストーミング
第3回	12/16 (月)	第2回関係者ブレインストーミング
第4回	1/20 (月)	・ 市民ニーズ調査結果の報告 ・ 関係者ブレインストーミング結果の報告 ・ 上記調査結果から見る連携計画改訂の方向性の協議
第5回	2月中旬	・ 改訂計画に位置づけるプロジェクトの協議・調整(1回目)
第6回	2月下旬	・ 改訂計画に位置づけるプロジェクトの協議・調整(2回目) ・ 計画素案の協議
第7回	3月中旬	・ 計画(最終案)協議

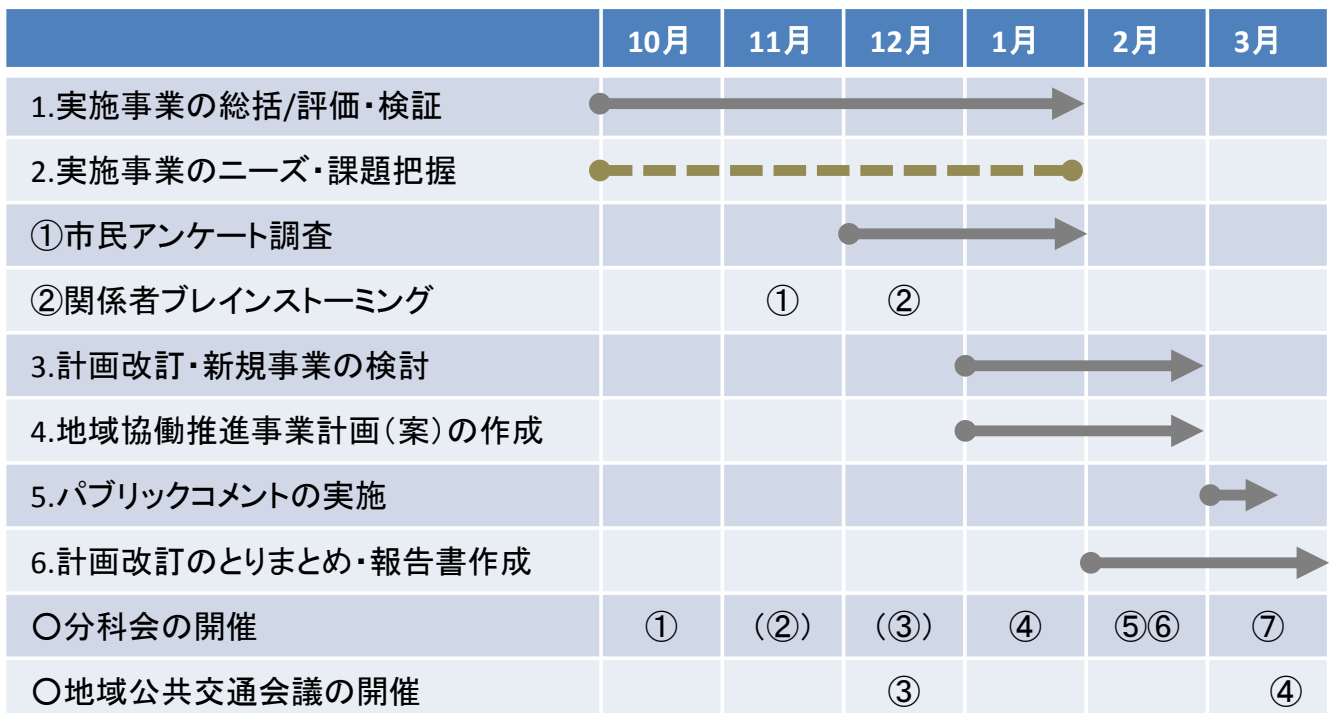


図 3-1 スケジュール・工程イメージ